



出雲総合芸術文化祭

バラエティに富んだ、数々の舞台芸術や伝統芸能などの優れた芸術文化に触れる機会を、年間を通じて提供します。

出雲市市民文化部 文化スポーツ課 ☎21-6514
(公財)出雲市芸術文化振興財団 ☎21-7580

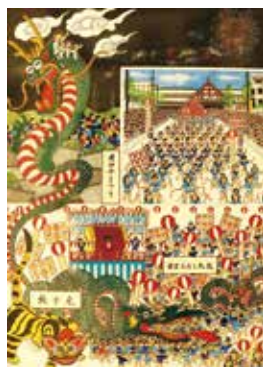
(公財)出雲市芸術文化振興財団のホームページ(<http://izumo-zaidan.jp>)も、あわせてご覧ください。

出雲文化伝承館 開館時間/9:00~17:00(入館は16:30まで) 休館日/月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始 おたずね/☎21-2460

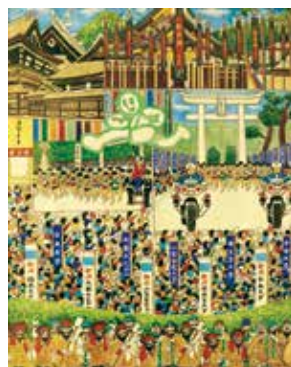
平野勲 原画展「出雲國神傳絵巻・ふるさとの祭り」

出雲市出身の漫画家・平野勲(1923-2010)氏が、出雲地方の祭りや出雲駅伝を題材に描いた作品を紹介します。

- ◆と き/開催中~令和3年1月31日(日)
※会期は変更になる場合があります。
また、催事により観覧できない場合があります。
- ◆ところ/出雲文化工房 ◆観覧料/無料



「ふるさとの祭り」より



「出雲國神傳絵巻」より

出雲キルト美術館 開館時間/10:00~17:00 休館日/水曜日(祝日の場合は開館)、第三日曜日 おたずね/☎72-7146

秋季企画展「綺羅の華 -菊-」展

今秋は暁を代表する花「菊」に焦点を当て、大正天皇の襦袢^{じゅばん}を作品にした「綺羅の華」をはじめ、出雲大社平成の大遷宮奉祝作品「風の華」や菊の打掛など菊のキルト作品を中心に秋の展示をご覧ください。

- ◆と き/開催中~11月30日(月)
- ◆観覧料/一般700円(10名以上の団体は100円引)、高校生以下500円
身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、
戦傷病者手帳の所持者は350円



出雲文化伝承館からのお知らせ

松籟亭での呈茶を休止し、抹茶テイクアウトを行っています。

感染症対策をしっかりとっておりますので、安心してお越しください。

- ◆と き/土日祝 11:00~15:00
※数量限定。なくなり次第終了します。
※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、休業することもあります。
- ◆ところ/茶室 松籟亭
- ◆料 金/ホット・アイス各500円 お菓子付



市民文化団体の催し

催事名	と き	と ころ	料 金
2020斐川文化祭 作品展示	10月31日(土)13:00~ 11月3日(火・祝)15:00	(生け花、書道、俳句、短歌、 絵画、陶芸、レコード鑑賞) 斐川文化会館	無 料
		(菊花、盆栽) 原鹿の旧豪農屋敷	無 料
多伎町文化祭 作品展示	11月7日(土)~8日(日)	多伎コミュニティセンター	無 料
第46回大社町 総合美術展	11月21日(土)~23日(月・祝) 9:00~17:00 (23日は16:00まで)	大社文化プレイスうらら館 ごえんホール 他	無 料
第34回プラタナス・My・ コンサート	11月22日(日)	平田文化館	無 料

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、中止や延期になる場合があります。

多伎文化伝習館 おたずね/ ☎ 86-2611

松の老木工芸展

- ◆とき/ 10月23日(金)~25日(日) 9:00~16:00
- ◆入場料/ 無料 ◆出品/ 中山義弘氏
- ◆来場者に中山氏の作品をプレゼントします。
- ◆あわせて、ひょうたん作家 三成猪一氏の作品も展示します。

OH! 地産地消コーナー まいがな出雲!

Vol.39 出雲といえば「出雲そば」

地元でとれる食材のおいしさを再発見してもらい、積極的に消費してもらいたい! 地元食材や生産者に親しみをもってもらい、地域への愛着を深めてもらいたい! との思いで、いろいろなお情報をお届けします。

今月の担当 農業振興課 ☎21-6557

出雲の名物といえば、「出雲そば」。そばの実を殻つきのまま挽いたことによる色の濃さ、香りの高さや強いこしが特徴です。地元で愛されているのはもちろんですが、そばを楽しみに訪れる観光客も多いのではないのでしょうか。今、市内で栽培されている「そば」が、収穫の時期を迎えています。

出雲市のそば栽培

出雲市でそばが栽培されるようになったのは、平成15年からです。出雲地域で「出雲そば生産組合」が設立され、当初は生産者32人、12.3haのほ場での栽培から始まりました。

現在は、「出雲そば生産組合」で125ha、「斐川町そば生産組合」で49ha、市内全体で約175haのほ場で栽培され、生産者も76経営体(個人・法人)まで増えています。

島根県オリジナル品種「出雲の舞」と「信濃1号」の2品種が栽培されており、栽培時期は、8月~10月の2か月余りですが、長雨や台風などの天候の影響を受けやすいほか、米に比べて、取れる量が少ないため、貴重な作物となっています。



~出雲そば生産組合 組合長 柘植健樹さんにお話をうかがいました~

そばはデリケートな作物で、排水対策など、適切な管理が求められます。順調に成長していても、急な雨や台風で枯れてしまったり、ヨトウムシが一晩で葉を全部食べてしまったりすることもあり、思うような栽培ができないことが多々あります。収穫までは、虫がつかず、天気もあってくれるよう、祈るような気持ちでいます。

苦労は多いですが、出雲産のそば粉を使った「出雲そば」を皆さんに食べていただきたいという思いで、栽培に取り組んでいます。

これから新そばが出回る季節になります。出雲そばならではの香りやこしを味わってみてはいかがでしょうか。



白く小さいそばの花は強い香りを出す